

しちがはま

議会だより

No. 131

平成29年4月27日
宮城県七ヶ浜町議会

たのしく遊んでいます！
(新築されたはまぎく児童保育館)

特集

平成29年度
予算

「心の復興」と福祉の充実
新年度の目玉事業

2

4

津波防災緑地公園等の維持管理計画は など 8人が質問 17
七ヶ浜町で開催！ 全国コンパクトタウン議会サミット 26

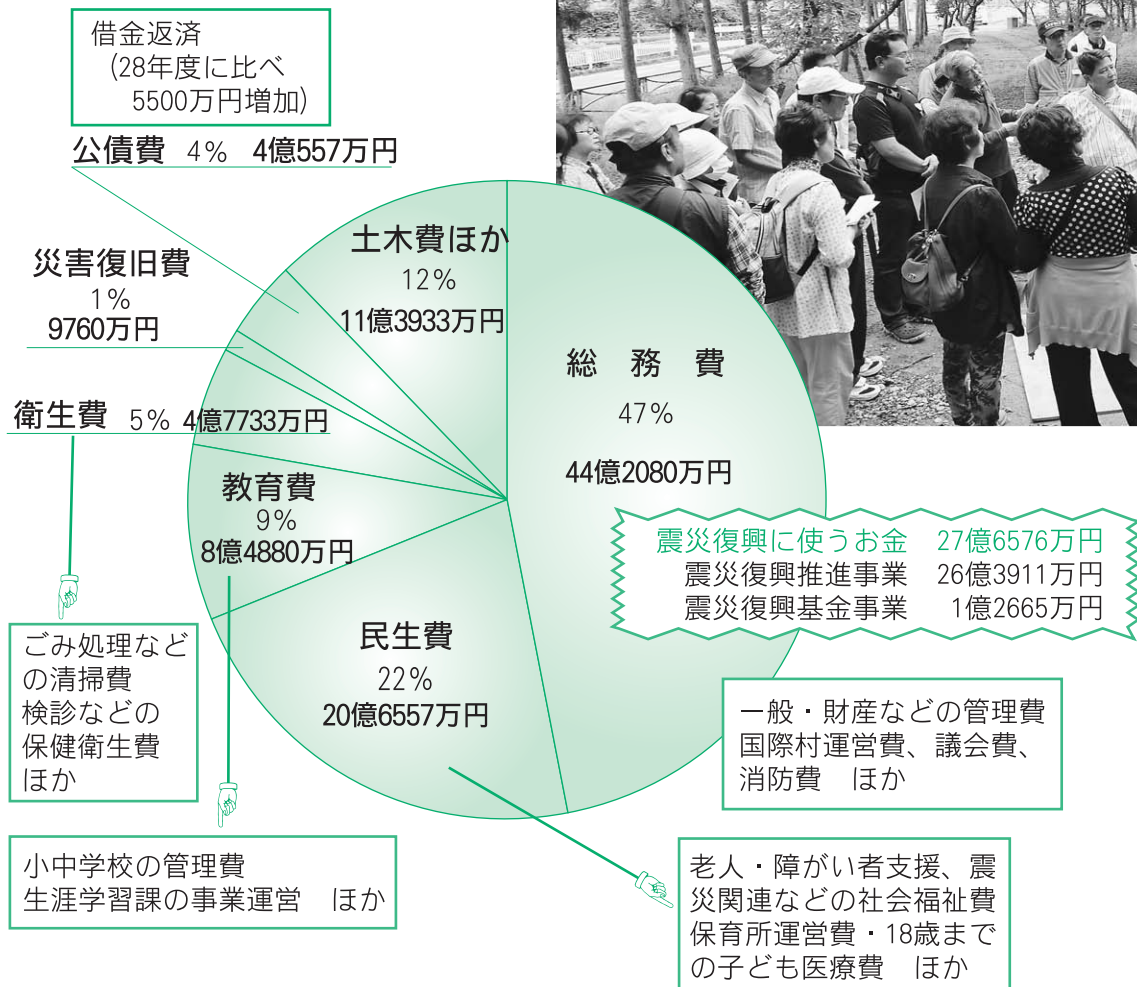
平成29年度 一般会計は
94億5500万円
でスタート

「心の復興」と福祉の充実

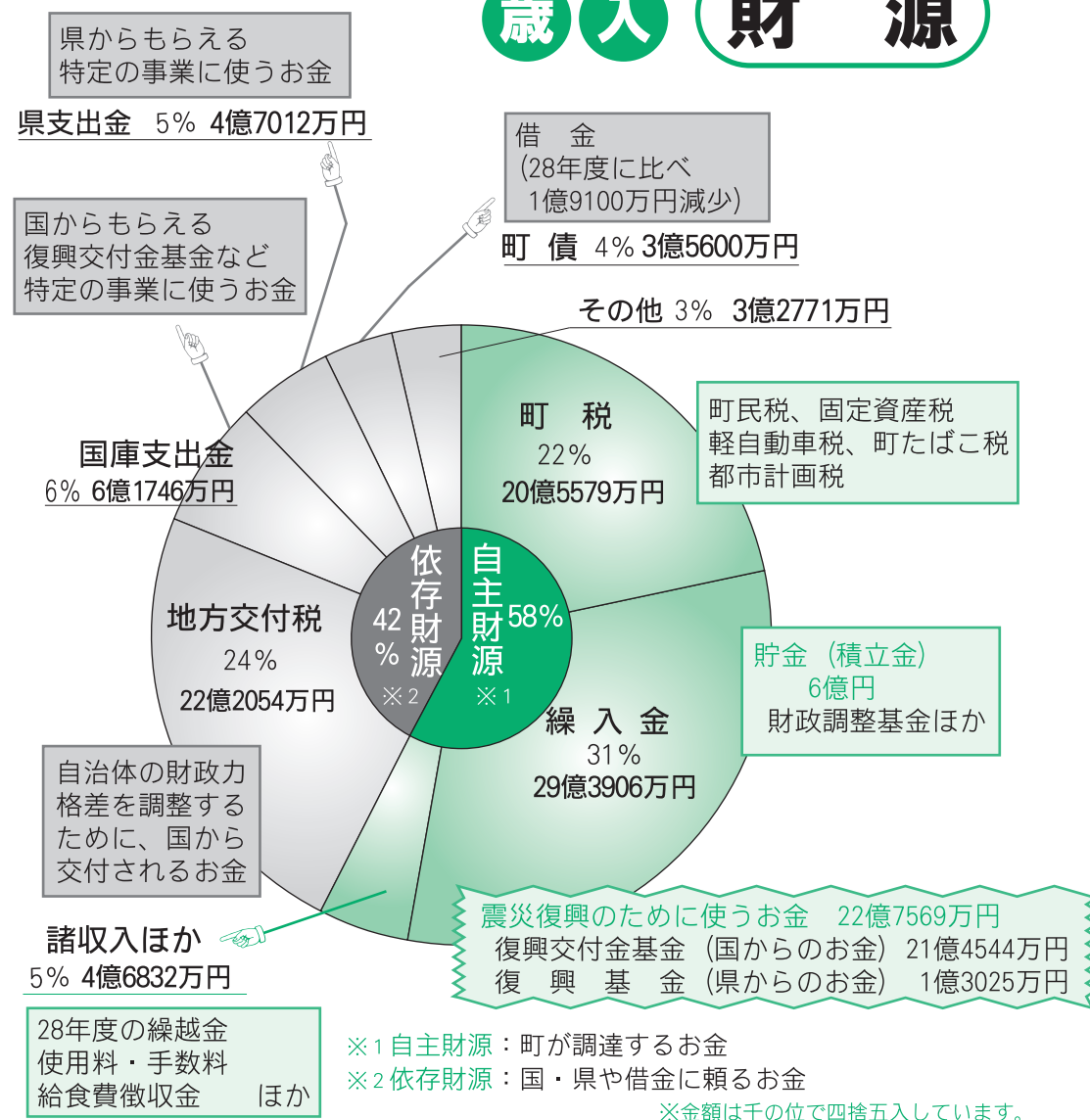
3月
定例会

歳出 使いみち

昨年の地域間交流（心の復興）



歳入 財源



3月定例会を3月2日から16日までの会期で開催しました。震災から6年が経過し、新しいステージに移る平成29年度の当初予算は、「心の復興事業」と福祉を中心に編成されました。また、平成28年度補正予算や固定資産税および都市計画税の減免条例改正など、29件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は8人が活発な議論を展開しました。

基本目標

- ① 自然と調和したまちづくり
 - ・松くい虫への対応
 - ・花と緑のまちづくり
- ② 資源を活かしたまちづくり
 - ・菖蒲田海水浴場の本格稼働
 - ・ブランド認定制度の創設
 - ・地球にやさしいまちづくり
 - ・ごみ分別辞典作成
- ③ 健康やかに暮らせるまちづくり
 - ・18歳までの医療費拡大
 - ・野外活動センターの改修
 - ・高校総合体育大会への支援
 - ・ひとを育むまちづくり
- ④ 小学校と地区との大運動会
 - ・英語コミュニケーション
- ⑤ 人と町協働のまちづくり
 - ・東宮浜の交流センター設置
- ⑥ 安全で快適なまちづくり
 - ・津波避難誘導標識等の設置
 - ・通学路の交通安全合同点検
 - ・ぐるりんこ等の運行
- ⑦ 住民と行政との信頼関係
 - ・被災者等への相談窓口開設
 - ・Wi-Fiステーションの設置
- ⑧ 長期的まちづくり
 - ・地区との意見交換
 - ・ふるさと納税の返礼品拡充

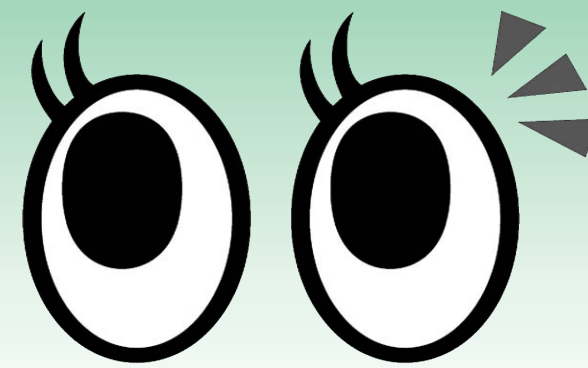
施政方針〈概要〉



町長
寺澤 薫

- ① 被災市街地復興土地区画整理事業やにぎわいの創出に伴う雇用事業を推進します。
 - ② 人材育成
 - ・世界に通用するグローバルな人材育成を推進します。
 - ③ 福祉の充実
 - ・18歳までの子ども医療費助成を実施します。
 - ④ 地域力の構築
 - ・地域内連携や地域間連携の推進をします。
 - ⑤ 交通対策
 - ・公共交通ネットワークの形成に取り組みます。
 - ⑥ 地場産業への新たな挑戦
 - ・「ブランド七ヶ浜認定制度」を創設します。
- 東日本大震災から6年になる今年は、震災の復興と新たなまちづくりに向けて、迅速果敢に取り組んでまいります。
- 被災者支援として健康・生活支援を優先に「心の復興」への支援を行います。

平成29年度の



目玉事業

留守家庭児童対象者を小学校6年生まで
拡大する事業費2889万円



ふるさと納税の返礼品拡充
92万円



菖蒲田海水浴場を本格オープン
1200万円



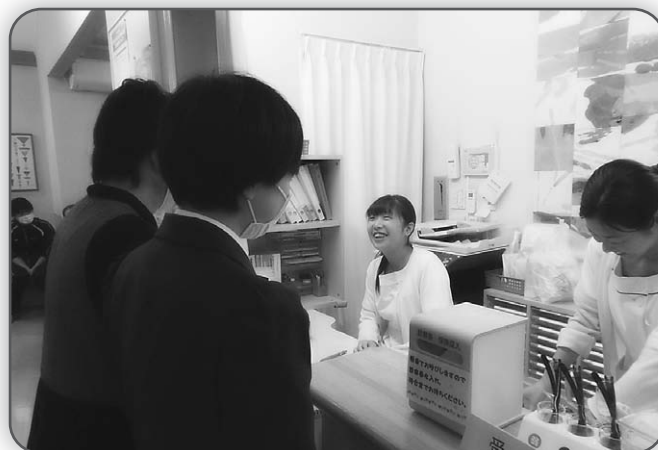
インターハイ・サッカー競技への補助
400万円



東宮浜地区交流センター実施設計費
500万円



18歳までの医療費を助成
6225万円



野外活動センターの改修費
7870万円



遠山保育所の改修費
7700万円



予算 審査

平成29年度の各種会計予算審査は、特別委員会を設置して3月2日から15日までの日程で行いました。

各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。その後、討論・採決の結果、全会計の予算を可決しました。主な内容を要約してお知らせします。（金額は千の位で四捨五入しています）



渡邊 淳
副委員長



我妻 周悦
委員長

どのように使うのか

各課審査で質疑応答

総務課

避難誘導標識 設置工事の内容は

(2059万円)

問 避難誘導標識設置工事の内容および設置箇所は。

答 課長 平成30年までに、避難所標識25カ所、避難場所標識32カ所、津波知識学習標識15カ所で、材質はアルミニウム合金製の看板を設置する。



標識(イメージ)

消防ホース格納箱の 管理は

(予算なし)

問 各地区の消防ホース格納箱の点検や修繕をどのようにするのか。
答 係長 今後は、町でも点検するとともに、各分団と一緒に管理や修繕をする。

政策課

観光防災 Wi-Fiステーション

整備事業は

(369万円)

問 ステーション設置場所および利用範囲は。

答 課長 観光情報の発信や災害情報伝達手段を確保するもの。町内6カ所(生涯学習センター、国際村、アクアリーナ、多門山公園、菖蒲田パトロールセンター、七のや隣にできる公衆トイレ)に設置される。利用範囲は、数十メートルのものを考えている。

「Wi-Fi(ワイファイ)」とは
パソコンやスマホなどの機器を無線で接続する技術のこと。

フランドセヶ浜 認定制度は

(34万円)

問 認定制度の基準と内容は。
答 課長 認定の要綱を定め、認定委員会で認定されたものがフランドセヶ浜になる。商品としては、食品や工芸品などである。また、認定要件は、安全性や健康に配慮したものである。

復興推進課

復興モニュメント 基本フランドン内容は

(300万円)

問 モニュメントのデザインや設置場所は。

答 課長 住民の意向を聞きながら、デザインや設置場所を考える。

建設課

町道久保線 整備工事内容は

(9100万円)

問 工事に際して、土地所有者の理解は進んでいるか。

答 係長 現在、用地買収の交渉はしているが契約はしていない。所有者との感触は良く、理解していただいている。



町道久保線

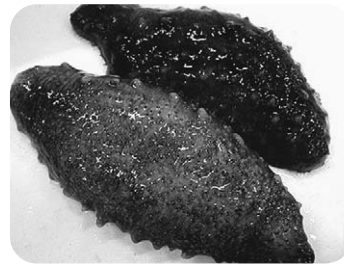
産業課

新たな挑戦 ナマコ成育調査方法は

(30万円)

問 なぜナマコなのか。また、成育調査の内容は。

答 課長 ナマコは、町の近海でよく獲れている。水産振興センターで育成された500匹の稚魚を、内湾や外湾10カ所ぐらいに放流したい。また、網の袋か箱に入れて成育調査を考えている。



おいしいナマコ

松くい虫被害集積木 撤去の方法は

(693万円)

問 集積木をどのように処理するのか。また、今後の予定は。
答 課長 処理としては砕いてチップにする。また、危険な場所や道路沿いの民家などを調査し次年度も処理していく。

地域福祉課

遠山保育所の改修内容は

(7700万円)

問 遠山保育所の改修内容は。
答 所長 調査結果をふまえて建築工事部分を中心に改修する。

子育て支援センター

さくら児童保育館の 改修内容は

(570万円)

問 改修内容は。また、保護者等の意見は反映されているか。
答 所長 利用者が増えているので、隣の図工室を改修する。また、支援員や利用者との協議しながら改修する。



さくら児童保育館

環境生活課

ごみ分別辞典冊子の 配布方法は

(133万円)

問 ごみ分別辞典冊子をいつ頃配布するのか。印刷部数は。

答 課長 8月頃から全戸に配布する。8000部印刷するが、転入者の部数も含まれている。



以前のごみ分別辞典冊子

国際村

イングリッシュ キャンプの内容は

(95万円)

問 グローバル人材育成プログラムとしてのイングリッシュキャンプの内容は。

答 局長 8月上旬に、小学生10人中学生20人の一泊二日を実施する。内容は、入国審査手続きや宝探しなど英語だけの体験である。

教育総務課

小学校と地区民との 合同運動会の内容は

(30万円)

問 町民の方々に、いつからどのような方法で周知するのか。

答 教育長 昨年の12月に、各地区の区長に説明をした。また、本年2月末に学校からのおたよりとして各地区へ周知した。再度、4月の町広報誌に詳しく掲載したい。

小学校施設の改修内容は

(4000万円)

問 改修工事の理由と内容は。
答 課長 改修内容は、松ヶ浜小学校校舎の雨漏り改修である。汐見小学校は高架水槽の交換工事である。亦楽小学校校舎の北側通路の整備工事である。



汐見小の高架水槽

討 論



…なので反対します



…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

被災された住民に対し、必要に応じた財政支援事業が十分行われていないので、次の点を含めて反対する。

- ①非常勤および臨時職員の報酬を、月額報酬にしていない。
- ②公営住宅の家賃減免等は、入居者に詳しく説明していない。
- ③生活保護費受給者のプライバシー保護対策をしていない。
- ④新入学学用品費の支給を、入学前に支給していない。
- ⑤消防ホース格納箱の管理は町が維持管理するべきだがしていない。

賛成 岡崎正憲

施政方針では6つの政策軸が示され、かつ次の点で賛成する。
①土地区画整理事業や津波防災緑地公園整備の実現に向けた計画性のある予算である。
②人材育成の本格実施として、英語指導助手の増員とともにコミュニケーション能力向上に向けた予算である。
③津波被災の伝承につながる「津波避難誘導標識」等のサイン設置が予算に組まれている。また、信号機増設による「通学路交通安全合同点検」を実施し、児童生徒の安全確保のための予算である。

学校給食センター

学校給食の

残菜処理対応は
(20万円)

問 残菜の量はどのくらいか。食べ残しへの対応は。

答 所長 一日18 kg～20 kgである。また、学校ごとに年2回の食育指導を通して、少しでも食べ残しをしないよう工夫している。



給食時の食育指導

生涯学習課

野外活動センターの

改修内容は
(7870万円)

問 利用者の意見を聞き設計する考えは。また、改修工事の日程は。

答 課長 利用者の声を可能な限り聞いて設計したい。また、今年度中には完成したい。

アクアリーナの
設備改修内容は
(331万円)

問 昨年の総務・教育常任委員会視察時には、設備の不具合は見られなかったが、今回の改修内容は。

答 係長 確かに視察時には異常がなかった。建築して18年が経過しており、海水風呂のろ過機タンクや自動温度調整弁等の不具合があり改修する。



改修するろ過機タンク

健康増進課

健康づくり推進員の

養成・育成は
(70万円)

問 健康づくり推進員の養成や育成はどのようにしているのか。また、指導者の養成や育成は早急な課題と思うが。

答 課長 養成や育成は、健康づくり推進員連絡協議会で実施している。指導者の養成や育成はなかなか難しいが地道に取り組んでいきたい。



健康づくり推進員活動

認知症初期集中支援の
内容は
(34万円)

問 新規事業であるが内容は。

答 課長 専門医とサポート医および行政の3者がチームを組んで認知症患者をサポートする。

水道事業所

君ヶ岡配水池

更新設計の内容は
(470万円)

問 君ヶ岡配水池(5000トンタンク)は、築造してから43年が経過しているので慎重に調査し更新工事をするべきであると思うが。

答 所長 君ヶ岡配水池は昭和49年に建設したもので、経年劣化による漏水が見られるので調査し改修工法を検討する。



君ヶ岡配水池

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

高齢者の負担が増えるばかりの仕組みになっている。メリットのない制度は廃止するべきである。

賛成 渡邊 淳

低所得者に対し、自己負担限度額の据え置きや介護保険年金生活支援給付金なども検討することになっている。

水道事業会計

反対 歌川 渡

実態に見合った受水量に契約変更をするべきである。また、現金預金の計画的な取り崩しを行い水道料金を引き下げるべきである。

賛成 佐藤 衛

厳しい運営であるが、心臓部である君ヶ岡配水池タンクの改修工事設計や、動脈部である配水管の老朽化調査と改修工事予算が計上されている。

※公園墓地は

反対なく全会一致で可決

サッカースタジアム



利用料金 1 時間単位へ

議案審議

条例改正

●スポーツ施設条例の一部改正

内容

サッカースタジアムの利用料金を時間帯区分によるものから1時間単位に見直す。利用者の増加と施設稼働の効率化をはかるものです。

討論

反 対 歌川 渡
新利用料金は利用者の負担増になるため、また他の施設利用の値上げも予想されることから反対とする。

賛 成 佐藤 衛

施設利用者の形態や時間単位料金の明確化を図り効率的に利用できる。

採決の結果

賛成 11

反対 2

賛成多数で可決



利用しやすくなります

サッカースタジアムの新利用料金

区 分			利用料金の基準額
グラウンド （１時間につき）	入場料を徴収 しない場合	一般	３， １ ５ ０ 円
		中学生以下	２， １ ０ ０ 円
	入場料を徴収 する場合	一般	９， ４ ５ ０ 円
		中学生以下	６， ３ ０ ０ 円
選手更衣室（シャワーの使用を含む １室１時間につき）			３ １ ０ 円
審判員更衣室及び控室 （シャワーの使用を含む １時間につき）			１ ０ ０ 円
会議室（１時間につき）			２ １ ０ 円
本部室（１時間につき）			２ １ ０ 円

●特定個人情報情報の保護に関する条例の一部改正

内容

特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正するに伴い、所要の改正をするものです。

●町税条例の一部改正

内容

県税条例の改正に伴う軽自動車税環境性能割の減免規定の改正等を行うものです。

●都市計画税条例の一部改正

内容

課税区域の改正に伴い、改正するものです。新たに加わる地域は、笹山地区他で、238筆の増、4筆の減となるものです。

●東日本大震災の被災者に対する固定資産税及び都市計画税の減免に関する条例の一部改正

内容

津波浸水区域の課税免除において、平成27年度以降減免適用を延長してきました。財源補填が延長となることに伴い、本年度も減免適用を延長するものです。

採決の結果

反対なく全会一致で可決

特別委員会

議会活性化検討

特別委員会を設置しました

目的

近年、議会基本条例の制定等による地方議会の活性化策が図られております。当議会においても議会報告会の開催方法や、議会活性化策を議員自らが検討する必要があるため、設置するものです。

構成

委員長

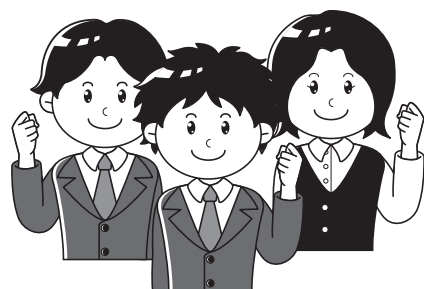
遠藤 久和

副委員長

渡邊 淳

委員

議長を除く全議員



町道路線の認定他

路線番号	路 線 名	起 点	終 点	
1 0 7 6	阿川沼支線	菖蒲田浜字東峠下 5 4 - 1	菖蒲田浜字西峠下 1 4 - 1	認 定
2 1 0 5	汐見台六丁目 9 号線	汐見台六丁目 2 - 9 6	汐見台七丁目 8 - 9 1	
1 0 7 6	菖蒲田海岸支線 1 号線	菖蒲田浜字長砂 1 9 - 1 6	菖蒲田浜字長砂 2 1	廃 止
1 0 7 7	菖蒲田海岸支線 2 号線	菖蒲田浜字長砂 1 9 - 4 7	菖蒲田浜字長砂 2 5	
1 0 7 8	菖蒲田海岸支線 3 号線	菖蒲田浜字長砂 3 4 - 1	菖蒲田浜字長砂 3 4 - 2	
2	菖蒲田海岸線	菖蒲田浜字一本松 2 4 - 1	菖蒲田浜字長砂 1 3 - 1	変 更
1 0 7 5	阿川沼線	菖蒲田浜字東峠下 3 9 - 1	菖蒲田浜字新小塚 9 2	
1 2 6 7	荒敷団地 1 号線	東宮浜字荒敷 4 - 1	東宮浜字荒敷 3 - 1 3	

補正予算

向洋中空中回路復旧工事を追加

平成28年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億3511万円を減額し総額を106億2832万円としました。水道高料金対策補助金や向洋中学校空中回路災害復旧工事、サッカースタジアム改修工事の減額などを審議し、原案のとおり可決しました。

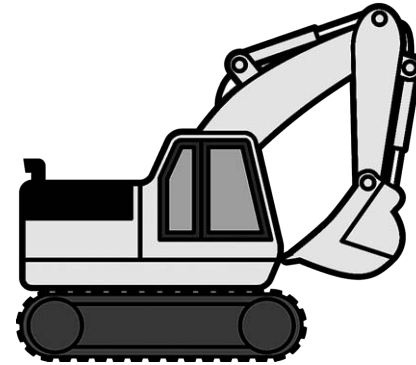
問 各種住民検診委託料が減額された理由は。
答 健康増進課長 毎年同程度の額を減額しているが、予算計上していた人数より受診された方が少ないため。実際受けている方は同じである。

各種住民検診委託料の減額
(388万円)

問 はまぎく児童館改修工事減額の内容は。
答 地域福祉課長 改築工事予算額と入札額の差額を減額した。

はまぎく児童館改修工事の減額
(581万円)

質疑



問 太陽光発電システム設置補助の減額は何世帯分か。
答 環境生活課長 30世帯分に相当する。

住宅用太陽光発電システム設置の減額
(225万円)



向洋中学校空中回路（渡り廊下）

お も な 内 容

一 般 会 計		補 正 額
歳入	震災復興特別交付金を減額	▲2億9738万円
	地方消費税交付金を減額	▲4628万円
	財政調整基金繰入金へ追加	1億2800万円
歳出	震災復興推進事業費を減額	▲1億2765万円
	下水道事業特別会計繰出金を減額	▲6000万円
	サッカースタジアム改修工事を減額	▲5528万円
	向洋中学校空中回路災害復旧工事	2078万円

※金額は千の位で四捨五入しています。

臨時議会

工事契約

●平成28年度トイレ等改修工事

松ヶ浜小学校・汐見小学校

松ヶ浜小学校
契約先 阿部建設(株)
金額 5616万円
汐見小学校
契約先 (株)丹秀工務店
金額 6884万円

討論

反対 歌川 渡
今後どのように改修されるのか十分に説明されていない。議会への説明を十分におこなったうえで、工事請負契約の締結を求めて反対とする。

賛成 佐藤 衛
たくさんのお子さんの保護者から「早く改修して欲しい」との要望がある。適正に計画がなされているので賛成とする。

●町道路路線認定

(花洲浜地区)

内容
地域住民の福祉増進を図るため、町道路路線の認定をするものです。

討論

反対 歌川 渡
現時点で既に町道として認定されている道路である。拡幅する時点で再認定すべきであり反対とする。

賛成 岡崎 正憲
将来的には6メートルまで拡幅することである。住民に対する良い方向での認定であり賛成する。

採決の結果
賛成 11
反対 2 (歌川・木村)
賛成多数で可決

工事変更契約

工事名：被災市街地復興土地区画整理事業
公共施設整備工事(花洲浜地区)

契約先：(株)NIPPO

金 額：2億2876万円(8768万円の減額)
理 由：花洲浜地区の仮換地及び工期変更のため



工事名：都市公園(菖蒲田漁港緑地)整備工事

契約先：丸勘建設(株)

金 額：1億3544万円(163万円の増額)
理 由：防災集団移転土地買収のため



工事名：被災市街地復興土地区画整理事業
公共施設整備工事(花洲浜地区5工区)

契約先：丸勘建設(株)

金 額：7206万円(1288万円の増額)
理 由：水中コンクリート工法に変更のため



工事名：サッカースタジアム競技面改修工事

契約先：長谷川体育施設(株)

金 額：1億6651万円(845万円の減額)
理 由：競技面表土運搬作業一部削減など



3月定例会 提出議案採決結果一覧（3/2～3/16）



3月定例会では、条例改正、平成28年度各種会計補正予算および平成29年度一般会計予算等の議案と閉会中の継続調査申出書（総務・教育常任委員会、産業建設・厚生常任委員会）の審議をしました。
賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田秀和	木村稔	熊谷明美	佐藤壮一	安倍敏彦	佐藤衛	渡邊淳	遠藤久和	鈴木初雄	我妻周悦	佐藤梶信	歌川渡	岡崎正憲	大町睦夫
スポーツ施設条例の一部改正	10	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
平成29年度一般会計予算	9	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
平成29年度下水道事業特別会計予算	9	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
平成29年度国民健康保険事業特別会計予算	9	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
平成29年度介護保険特別会計予算	9	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	9	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
平成29年度水道事業会計予算	9	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—

○賛成 ●反対 議長（大町睦夫）は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例改定	掲載ページ	補正予算	掲載ページ
○特定個人情報の保護に関する条例の一部改正	11	○平成28年度一般会計補正予算（第4号）	13
○町税条例等の一部改正	11	○平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	—
○都市計画税条例の一部改正	11	○平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	—
○東日本大震災の被災者に対する固定資産税及び都市計画の減免に関する条例の一部改正	11	○平成28年度公園墓地事業特別会計補正予算（第2号）	—
○母子健康センター設置条例の一部改正	—	○平成28年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	—
○介護保険条例の一部改正	—	○平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	—
○平成29年度公園墓地事業特別会計予算	—	○平成28年度水道事業会計補正予算（第2号）	—
○議会委員会条例の一部改正	—		
○議会活性化検討特別委員会の設置	11		



工事変更契約	掲載ページ
○工事請負変更契約「土地区画整理事業公共施設整備工事（花渚浜地区）」	12
○工事請負変更契約「土地区画整理事業公共施設整備事業（花渚浜地区5工区）」	12
○工事請負変更契約「都市公園整備工事」（菖蒲田漁港緑地）	12
○工事請負変更契約 サッカースタジアム競技面改修工事	12

平成29年度 各種特別会計予算の状況

国民健康保険事業特別会計

23億9600万円 前年度比 0.5%減

歳出の主なもの

保険給付費 14億2667万円
※一般被保険者医療給付金・高額医療費等
保険事業費 2483万円
※生活習慣病予防関連事業・各種検診等への補助

下水道事業特別会計

7億5900万円 前年度比 1.7%減

歳出の主なもの

事業費 1億3413万円
※汚水樹・マンホール等の設置・污水管渠改修
・污水管渠内面更生工事・污水ポンプ場改築
・人孔内面更生工事

後期高齢者医療特別会計

1億9275万円 前年度比 5.9%増

歳出の主なもの

後期高齢者医療広域連合納付金 1億8948万円
※後期高齢者医療広域連合への納付金

公園墓地事業特別会計

1638万円 前年度比 19.1%減

歳出の主なもの

総務費 723万円
※公園墓地管理委託・墓地管理基金積立金

水道事業会計

収益的収入 5億1894万円 前年度比 1.1%減
収益的支出 5億1306万円 前年度比 0.4%減

収益的支出の主なもの

※原水費 2億8983万円
・仙台市の受水費 3485万円
・仙南仙塩広域水道の受水費 2億4880万円

資本的収入 1億1312万円 前年度比 39.3%減
資本的支出 2億4475万円 前年度比 24.9%減

資本的支出の主なもの

建設改良費 2億2683万円
※配水管整備事業費 1億9559万円
・人件費等
・町内配水管布設工事等

介護保険特別会計

15億3430万円 前年度比 2.1%増

歳出の主なもの

保険給付費 14億3345万円
※給付費負担金
・居宅介護サービス
・地域密着型介護サービス
・施設介護サービス
地域支援事業費 5164万円
※介護予防・生活支援サービス負担金
介護予防ケアマネジメント作成負担金
包括的支援事業費用（人件費等）



一般質問一覧表

3月定例会の一般質問は、15日と16日の2日間行い、8人が活発な議論を展開しました。

内容は質問者の原稿を原文に近い形で18ページから25ページに掲載しています。

なお、タイトルは通告のとおりです。

岡崎 正憲 …… 18ページ

- 都市公園（津波防災緑地）等の維持管理計画と財源は
- ふるさと納税の活用等について

渡 邊 淳 …… 19ページ

- 観光客誘客について
- 市街地の樹木管理について

佐 藤 衛 …… 20ページ

- 健康長寿の延伸への取組みについて

熊谷 明美 …… 21ページ

- 高齢者ドライバーの事故防止について

遠藤 久和 …… 22ページ

- ライフセーバーの育成について
- 地場産品の販売流通の拡大について

安倍 敏彦 …… 23ページ

- 小中学校のエアコン設置について
- 指定避難所のエアコン設置について
- 生涯学習センター内の軽運動場活用について

木 村 稔 …… 24ページ

- 小・中学校体育館の洋式トイレへの改修について
- 町内の郵便ポスト増設について
- アクアリーナ利用者の駐車場整備を

歌 川 渡 …… 25ページ

- 町営住宅の低額所得入居世帯に七ヶ浜町住宅条例で定める「家賃の減免又は徴収猶予」制度の周知を
- 高校生への奨学金は給付制に
- 国保事業での「保険者支援金」は低所得者納税者に活用すべき

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。

ズバリ

町政を問う



議会報告・懇談会を開催します

議会運営

開催日	時 間	会 場	対 象 地 区	班	班編成
5月20日 (土)	午 前 10:00~11:30	要害地区避難所	要 害	1班	1班 ・歌川 渡 ・渡邊 淳 ・佐藤 衛 ・仁田秀和
		第5分団ポンプ車置場	東 宮 浜	2班	
		遠山地区避難所	遠 山	3班	
	午 後 1:30~3:00	代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜	1班	2班 ・鈴木初雄 ・佐藤梶信 ・木村 稔 ・佐藤壮一
		境山公民分館	境 山	2班	
		吉田浜コミュニティセンター	吉 田 浜	3班	
5月21日 (日)	午 後 3:30~5:00	要害地区避難所	御 林	1班	3班 ・我妻周悦 ・遠藤久和 ・熊谷明美 ・安倍敏彦
		汐見台南第1集会所	汐見台南	2班	
		亦楽公民分館	亦楽・火力	3班	
	午 後 2:00~3:30	湊浜地区避難所	湊 浜	1班	
		菖蒲田浜地区避難所	菖 蒲 田 浜	2班	
		汐見台第2分館	汐 見 台	3班	
	午 後 4:00~5:30	笹山地区避難所	笹 山	1班	
		花刈浜地区避難所	花 刈 浜	2班	
		松ヶ浜地区避難所	松 ヶ 浜	3班	

※議会だよりNo.131と広報しちがはま5月号を持参願います。

対象地区以外の方でも受付けますので、都合の良い会場にお越しください。

平成28年度の町村議会広報全国コンクール（全国町村議会議長会主催）で、No.127（平成28年4月28日発行）が「奨励賞」に選ばれました。

今回の受賞は、6人の新人議員が編集委員となって半年目に発行した議会だよりなので喜びもひとしおです。今までに蓄えた内容を編集に活かして、「より読みやすい議会だより」にしたいとの決意を新たにしました。

審査員の講評は次のようなものでした。

「質疑・討論、一般質問など議事の公開度は高い。簡潔明瞭に要約し、センテンス短く、実に読みや



より読みやすい議会だよりへ

すい記事で構成されている。大見出しには力があり、質疑ごとの小見出しも的確に付けられて読者の視線を誘導しています。円グラフの費目には補足的な脚注を付けるなど、細やかな配慮あり、『読者本位』の編集で一貫しています。」

全国コンクールで「奨励賞」を受賞

議会広報





わたなべ 渡 辺 かつし 淳

本町に潮風トレイルを

町長 ルートにないがあきらめず 交渉を続ける

問 環境省の事業『みちのく潮風トレイル』事業に本町は選定されていない。観光産業を推進するにあたり国の事業に入ることは産業全般のビジネスチャンスと捉える。今後町の観光ポイントをつなぎ、寄り道ルートとして環境省へ接続を求め、町の観光策を推進していく考えはないか。また県へも同様にトレイル申請を促す考えはないか。

答 町長 風光明媚な町を歩いてめぐっていただくことは有効なことだ。町は環境省の潮風トレイル設定はされていないが、資料には観光ポイントに掲載される。今後もあるあきらめずに交渉を継続し、寄り道コースの設定をお願いしていく。

問 観光ポイントだけでなくAEDやトイレ、緊急時の連絡先（病院、Wi-Fiエリア、危険な場所、ルートなどを表記し環境省に示すべきではないか。

答 産業課長 本町の魅力を発信するための

現在、短いコース設定のフットパスを考えている。県内では柴田町に事例があり徐々に拡がりを見せられている。歩道や休憩所の整備が必要なトレイル事業とは違い、簡単な道しるべを設置するものなので実現化に向けて取り組んでいく。



みちのく潮風トレイルのチラシ

問 潜在的な町の魅力や財産、地域連携プログラムで発掘されたものなど、各課の事業を連携し来客者に魅力と感じてもらうことが必要ではないか。

答 町長 産業課だけではなく関係課の連携した取り組みが必要と思う。さらに東松島市を含め3市3町圏域として広域の事業や「湾」ブランド構想」にも対応できるものは参画していきたい。



伸びた街路樹

問 議会報告会などで市街地の街路樹せん定や伐採、落葉処理の対策に住民要望はいまだに多い。地区として管理手法を検討する時期にきている。住民主体で行政と一体となった街路樹管理計画を策定し、良好な景観に配慮したまちづくりを行うべきと考える。100万本植樹事業（緑基金）という県の事業があるが、活用し住民の要望にこたえる考えはないか。

答 町長 必要な箇所のせん定伐採の予算処置を行っているが、町の予算だけでは要望に対応することが難しく、地元との協力を得ながら行っている。良好な景観を保持

問 植樹用資材や専門家の派遣も可能な事業なので専門家の指導の下効率の良い環境にやさしいまちづくりをしてはどうか。

答 建設課長 産業課と樹や伐採の方法を、地区と十分協議して実施していく。

街路樹管理計画をつくる考えは

町長 管理計画を進めていく

問 国・県の費用負担や本町の負担予想は。

答 国の補助制度はないので、全額町の一般財源となるが、今後、県への働きかけをしたい。

問 公園の施設（駐車場等）利用や、民間利用（ネーミングライツ）を考慮した財源確保の考えはないか。



完成した菖蒲田浜海浜公園

問 新しい菖蒲田浜海浜公園他の都市公園は町民の憩いの場として運用が開始されようとしている。維持管理費等は莫大になると予想されるが、基礎となる管理計画は策定したのか。

答 町長 維持管理費用は、概算で年間1000万円以上とみている。全体を見渡した維持管理計画を早急に検討したい。

問 駐車場は夏場以外原則として有料化は考えていない。ネーミングライツに関する町の要綱はないので、対象案件も含めて検討したい。

答 仙台市は、若林区荒井にフットサル場の整備と運営を特殊法人に運営委託する。収益を公園全体の維持管理費に充

てる計画とのことであり、本町での運用も可能と思われる。検討の考えはないか。

答 経済的基礎等を有している法人の存在が必要となるが、本町の施設では収益性の高いものがなく、難しいと考える。仙台市の実施状況を見ながら今後の検討課題として

ふるさと納税の活用と返礼品の内容は

町長 感謝の気持ちで地場産品を

問 以前に、本町の基本姿勢として、派手な返礼品でなく納税の趣旨を踏まえて実施することを確認した。自治体によっては返礼品に充てる金額が寄付金の43%を占めるという本末転倒の現象が起き、競争激化の傾向がさらに強まっていると感じる。本町が現在実施している返礼品の種類と金額はどの程度か。

答 町長 寄付に対して感謝の気持ちを示す意味で、地場産品を返礼品としている。焼きノリや海苔チップス、米、大豆のスイーツ等で、地場産品の販売拡大で連携した朝日町のワインも加えている。金額は一口1万円の寄付で4000円以内としている。

問 寄付者が選んだ事業に使った事をどう伝えるか。

答 副町長 年度内に該当事業がなかったり終了しない場合は、特定財源となりうるので、寄付者の主旨に合うように基金としての処理も考慮したい。

くまがい あけみ
熊谷 明 美

高齢者ドライバーの 事故防止対策を

町長 各関係機関と連携をはかり
対策を考えたい

問 高齢者ドライバーによる交通事故が全国で相次ぎ、その防止策が急がれている。本町においても「高齢者ドライバーの安全を地域全体でどう支えるか」その対策が必要と考える。現状と要望を把握するためアンケート調査を実施する考えはないか。

答 町長 アンケート調査実施の考えはないが今後、高齢者ドライバーの対策を考えるうえで現状や要望の把握は必要と思われる。交通安全協会七ヶ浜支部や老人クラブ、塩釜警察署など関係機関と連携を図りながら現状を把握していきたい。



問 高齢者ドライバー向けの交通安全出前講座や講習会の開催、実技研修など定期的に自身の運転能力の変化をチェックできるような啓発活動をする考えはないか。

答 塩釜警察署による講演や、近隣の自動車学校で実施している高齢者向けの交通安全教育を視野に入れて開催する予定である。

問 塩釜警察署や医療機関、家族と連携をして認知症ドライバーの早期診断、早期発見に取り組むためにも、本人や家族の相談窓口を設ける考えはないか。

答 現在も地域包括支援センターで高齢者家族から認知症の相談を受けている。改正道路交通法の周知とあわせながら、今後も認知症ドライバー

問 生活の必要に迫られる人は多い。車に頼らざるをえない環境の中で、自主返納などで免許証がなくなった人のフォローが必要である。「運転経歴証明書」の申請を勧め、証明書を提示することで「ぐるりんこ」の乗車料金を無料にすることや、ユーアイバスやタクシール金の割引などをする考えはないか。

答 政策課長 「ぐるりんこ」は現状を踏まえ動向や声を聞きながら考える。ユーアイバスやタクシー割引などは問題提起しながら考えていきたい。

副町長 視野には有るが、先ずは「ぐるりんこ」の対処をし、その後、懸案事項として上がってからの話である。もう少し先の事と考えている。



問 障がい者手帳の有無に関わらず、身体に障がいをお持ちの人の支援策として、福祉タクシーの割引チケット発行や、デマンドタクシーの運行の考えはないか。

答 町長 個々によって町としては今のところ、見守っていききたい。ボランティアは考えていない。

問 免許証返納者の買い物対策として、地元スーパーや商店で購入した荷物を、宅配サービスする考えはないか。また、宅配のボランティアを募る考えはないか。

答 町長 個々によって町としては今のところ、見守っていききたい。ボランティアは考えていない。

さと まもる
佐藤 衛

健康長寿への取り組み姿勢は

町長 町全体で取り組んでいく

問 日本は世界一の長寿国および健康寿命国であるが、県内での町のランキングは、男性は16位で79・61歳、女性は29位で82・34歳である。町長は満足しているのか。

答 町長 全国の平均よりは上回っているが、県内での比較では順位が低くなっているので満足はしていない。高血圧や糖尿病などの未病対策を進める。

問 生活習慣病への予防事業や早期発見、早期治療のための各種検診事業、食育推進事業などは理解するが、科学的な調査研究に基づく戦略的かつ計画的に取り組む必要があると思うが。

答 平成27年度に作成した「データヘルス計画

や今年度で作成する第7期介護保険事業計画による調査結果のデータを基に対策を講じる。

問 町は生涯スポーツの推進による健康づくりに取り組んでいると聞くが、アクアリーナの事業費と体育施設費を合わせると2億4700万円の予算が必要とされている。スポーツと国保税や後期高齢者医療との関係費用対効果の検証などはされているのか。

答 生涯スポーツと国保税や医療費との関係および費用対効果などの調査や検証はしていないが、各事業ごとの成果や課題は把握している。健康づくりは、保健担当部局だけでなく、行政や学校、地区、各種団体など町全体で取り組んでいく。

問 健康寿命を延ばすためには、正確なデータ分析、数値目標の設定、実施後の検証などのためには、大学や専門機関との連携が必要と思うが。

答 大学と連携して、高血圧症調査を依頼している。主に、塩分との関わりなどの調査であるが、結果は次年度になる。

問 重要な施策であるので、目標を大きく掲げ、町民の意識高揚のため「健康長寿日本一」のまち宣言をする考えは。

答 現在、県は「予防健康づくり共同推進」宣言をしているので、現在は町として宣言する考えはない。県は県民健康づくり推進計画を推奨しているので、今後も町全体で取り組んでいく。



長寿社会に向けた軽運動

ひとロメモ
「データヘルス計画」とは

健康・医療情報を活用して、計画・実施・評価・改善サイクル（PDCA）に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画である。



あんべとしひこ
安倍敏彦

小中学校にエアコン設置を

教育長 必要性を検討したい

問 近年、地球温暖化の影響により気温も上昇し、長時間を教室で学ぶ子どもたちは、いつ熱中症になってもおかしくない状況にある。

答 教育長 普通教室にエアコンが設置されている小中学校はない。特別教室には各小中学校のパソコン教室に全て設置している他、七ヶ浜中学校は音楽教室と視聴覚教室に設置されている。また平成28年8月に小中学校の保健室に全て設置した。



エアコンのある七中の音楽室

生涯学習センター内の 軽運動場活用を図れ

教育長

震災以前と同様に
貸出しをする

問 屋外の運動施設は、応急仮設住宅の撤去も完了し、充実してきた。生涯学習センター改修も完了しているのであれば、軽運動場も整備済みと思われるが、いつから貸出しするのか。

答 教育長 軽運動場内の書架や備品の整理に目途がついたので、床ワックス等の修繕を行い、4月から震災以前と同様に、バレーボールやバドミントン・卓球等に貸出しする。



えんどうひさかず
遠藤久和

ライフセーバーの育成を

町長

難しい状況だが進めていきたい

販売・流通拡大と 生産者の育成を

町長 前向きに対応したい

問 昨年、10日間のプレオープンから今年は37日間の本格オープンを迎える。ビーチの安全対策の要となるライフセーバーの確保は昨年より多くの人員が必要と考える現時点での確保の見通しはどうか。

答 町長 難しい現状ではあるが確保に努めたい。

問 現実的には関東からの確保が必要だ。予算を確保し条件提示すべきでは。

答 産業課長 条件面を改善していきたい。

問 将来を見据えてライフセーバーの育成を目指すべきと考える。NPO法人日本ライフセービング協会（JLA）



ビーチ安全対策の主役

や企業の協力を得ながらジュニアの育成を進める考えはないか。

答 町長 観光協会が主体となりジュニア教室等の開催を行いたい。

問 ジュニア教室の被災地開催へ支援する企業がある。検討すべきではないか。

答 産業課長 NPOで検討しているが継続できるかは今後の状況を確認しながら進めていきたい。

問 ブランド七ヶ浜認定制度を創設し販売・流通の拡大を図ると示された。平成28年度における地場産品商品開発の内訳と実績は。

答 町長 通年商品3品、季節商品4品、現地で食べる料理2品のうち1品を作ってみたが好評ではなかった。

問 新年度における商品開発はどこが、どのように行うのか。

答 町内2業者が行う予定である。

問 開発力のある企業の協力が必要では。

答 産業課長 検討してみたい。

問 ブランド七ヶ浜認定制度が創設されることにより販売・流通の拡大を目指すとはどのような内容なのか。

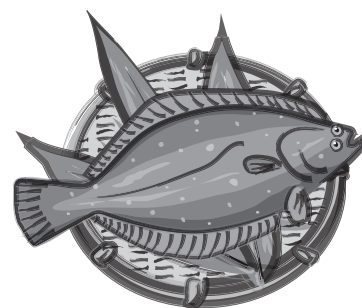
答 町長 七ヶ浜の商品は、品質は高いが知名度が低い。ブランドに認定した店や商品に認定シールを貼りPRし流通・販路拡大に努めたい。

問 農業に関して視察してきた群馬県川場村（道の駅）での取り組みを本町で行えないか。

答 産業課長 問題点はあるが、今後検討してみたい。

答 後継者育成には至らなかった。販売・流通の拡大へ対応する地場産品の収量拡大や従事者育成等の対策は。

答 海苔養殖の協業体では、町外から移住し従事している。各地で開催される漁業者募集のイベントに参加しているが、ワカメ養殖の従事者増加は現時点では見込めない。



指定避難所にもエアコンを 設置すべきでは

教育長

要望があれば地区と
協議をしていく

問 避難所で一定期間の避難生活を送るには、エアコンは欠かせない。未設置の指定避難所にエアコンの設置が必要と思うが町の考えは。

答 教育長 指定避難所は、円滑に避難出来るように地域ごとに避難所や地区公民館等を一時的な避難所の集合同所として位置付けている。

問 避難所で一定期間の避難生活を送るには、エアコンは欠かせない。未設置の指定避難所にエアコンの設置が必要と思うが町の考えは。

答 教育長 指定避難所は、円滑に避難出来るように地域ごとに避難所や地区公民館等を一時的な避難所の集合同所として位置付けている。

現在の未設置は境山、亦楽、汐見台第1・第2の各分館と汐見台南第2集会所の5カ所である。各地区分館長から、具体的な設置要望があれば、町公民館建設補助金交付要綱に基づき、それぞれの地区と協議する。

町営住宅入居者に 家賃の減免制度等の周知を 町長 家賃の適正な納付を 促していきたい

うたがわ わたる
歌川 渡

松ヶ浜西原町営住宅

問 入居世帯で、町営住宅条例施行規則第12条1項に定める「基準額」以下の入居世帯は何世帯あるのか。

答 町長 基準額は7万2800円で、2月末の該当世帯は135世帯である。

問 基準額以下の入居世帯に対し、制度の周知を図る考えはないか。

答 入居者等には、家賃の免除又は徴収猶予というよりも家賃の適正な納付を促していきたい。



アクアリーナ仮設駐車場

問 町民体育館跡地の今後の活用策は。

答 教育長 今後もアクアリーナ利用者の駐車場として活用する。

問 通常時の駐車状況は。

答 統計的な数字はないが、日中は約6割から8割、夜間は6割から7割の利用状況だと把握している。

問 昨年末、敷地内で車両の転落事故が起きたが施設管理者として安全管理は十分だったのか。

答 区画割のロープを張っており、施設管理者として十分な管理をしていたが事故発生後は、より安全を確保するため職員により単管パイプ等の柵を設け対策を講じている。

問 アスファルト舗装をする場合の試算費用はいくらか。

答 現在、舗装工事費の試算はしていない。

問 現在の整地現状で十分と考えているのか。

答 即、整備を行う考えはない。

きむら みのる
木村 稔

町民体育館跡地の活用策は

教育長 駐車場として活用する

体育館トイレの改修は

教育長 必要性を検討したい

問 体育館は地域住民への一般貸出しや災害時では、避難所となる重要な施設であり、防災の最後の砦である。

答 小・中学校体育館トイレを改修しない理由は、

問 生徒や教師との話し合いはされたのか。

答 特に場を設けて話し合いをしたことはないが、学校側からの要望はなかった。

問 改修するとなった場合の試算費用額は。

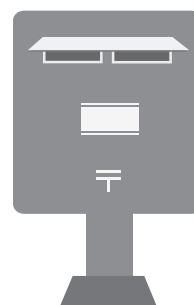
答 教育長 子どもたちが常時いる校舎を最優先として考えた。

郵便ポスト設置は

町長 設置するとの回答があつた

問 郵便ポスト増設を再度申し入れする考えはないか。

答 町長 塩釜郵便局に再度、確認したところ「平成29年度の予算で設置することを決定した」との回答があつた。葛浦田浜地区災害公営住宅付近への設置申し入れは必要ないと考えている。



問 今後、体育館トイレ改修の考えは。

答 学校施設の修繕計画や町全体での計画等を睨みながら、その必要性を検討していきたい。

高校生への奨学金を

返済不要の給付制に

教育長 現時点で創設の考えはない

問 現在、高校生の奨学金貸付者は何人いるのか。

答 教育長 在学中で2人、償還中が3人となっている。

問 高校生への奨学金を返済不要の給付制にする考えはないか。

答 国の給付制度に、高等学校就学支援金制度（公立月額9600円等）や高校生等奨学給付金（町民税所得割非課税・公立月額5万9500円）があることから、町として返済不要の給付制創設の考えはない。

国保保険者支援金を

低所得者支援に

町長 保険税抑制のため

医療給付費の財源に充当

問 低所得者への拡充支援事業の内容は。

答 町長 低所得者の国保税軽減としては、応益割の7割や5割、2割軽減措置の拡充をしている。

問 保険財政共同安定化事業の内容は。

答 医療費の急激な緩和と市町村間の保険料の平準化を図り、国保財政の安定化を図るため創設され、国保連合会が主体となっている。

問 保険者支援金および財政調整基金の取り崩しで、軽減対象者への支援拡充を図る考えはないか。

答 国保の医療費は医療の高度化や高齢化で増え続けているものの、被保険者の減少や低所得者の増加により、国保税の増収が見込めない状況にある。

保険者支援金と財政調整基金を充当しており、これ以上の拡充の考えはない。

七ヶ浜町で開催！！ 全国コンパクトタウン 議会サミット

5月18日（木）～19日（金）

第1回～第7回 開催地、研修内容

回	開催日	開催地	参加者	研修内容
第1回	平成21年 11月	香川県 宇多津町	10議会 47議員	議会改革への取り組み 他
第2回	平成22年 11月	香川県 宇多津町	11議会 47議員	防災対策と広域連携の あり方他
第3回	平成24年 2月	岐阜県 岐南町	11議会 67議員	子育て支援と高齢者対 策他
第4回	平成25年 4月	徳島県 北島町	10議会 47議員	議会サミット協議会の 発足、会則制定他
第5回	平成26年 4月	京都府 久御 山町・大山崎町	13議会 58議員	防災減災、災害時の警 報発令対処他
第6回	平成28年 5月	山口県 和木町	12議会 93議員	地域創成、地域力で生 き残る自治体他
第7回	平成29年 5月	宮城県 七ヶ浜町	12議会	自然災害対応に特化し た3部会を予定



山を崩して住宅団地（笹山地区）



全国の町から 議員が集まいます

自治体の面積15平方キロメートル以下の町（全国64自治体）の議会議員が一堂に会してコンパクトな町ならではの課題や政策を持ち寄り意見交換を行います。

第7回を迎える今回は、東北・北海道で唯一の小さい町、本町での開催となり、全国の自治体から議員が参集します。

一日目は七ヶ浜国際村を会場とし、二日目は町内の津波による被災状況と復旧・復興状況を視察します。

サミット日程

日	時 間	内 容	会場・現地視察先
18	10:00～	開会式	国際村ホール
	10:40～12:10	基調講演	
		昼食・休憩	
	13:00～15:30	分科会（3分科会）	国際村各会場
	15:30～16:00	津波映像の上映	国際村ホール
	16:00～16:30	全体会	
	16:30	閉会	
19		宿 泊	多賀城市内他
	9:00～11:30	現地視察・研修 （2グループ）	七ヶ浜町内 笹山高台住宅団地 災害公営住宅 富満田海水浴場 七のや 仙台火力発電所
	11:30	解散	国際村エントランス

基調講演は

七ヶ浜町長が！

サミット初日の基調講演は、寺澤町長が講師を務めます。

演題は「七ヶ浜町における津波そして復興」（仮題）で、自身が経験した内容を中心として防災のあり方、まちづくりが語られます。

基調講演へのご案内

寺澤町長の講演をお聞きになりませんか！ 入場自由です。

5 / 18（木）10:40～12:10 七ヶ浜国際村ホール



今回の課題は？
本町の経験をもとに自然災害にどう対応するかを中心に勉強するんだって。

七ヶ浜町でなぜするの？
東日本大震災翌年のサミットで、参加議会からお見舞いを頂いたんだ。その後、復興状況を是非視察させてほしいとの要望もあり、お礼の意味も含めて開催することになったんだよ。

いつ、どこで始まったの？
平成21年に香川県宇多津町で始まり、今回が7回目になるんだよ。次頁の表をみてね！

議員のみんなが集まって何をするの？
合併しないで自立の道を選んだ小さな町が、環境や財政規模が違っても共通の課題や未来の町づくりに向けて意見交換をするんだって。



のいのいの君の素朴なギモン

